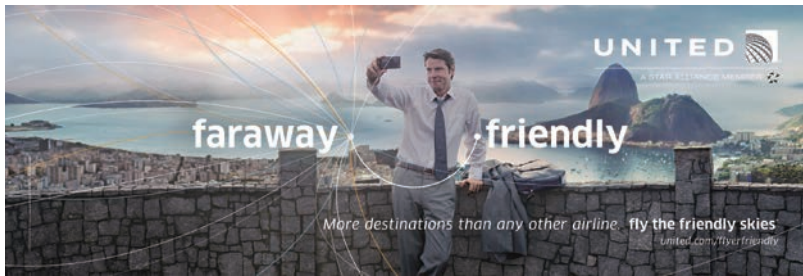


United Today

Monthly Newsletter from Corporate Communications

Oct. 2013 vol.27

ユナイテッドの新しい広告キャンペーンが始まりました。



皆さま、ユナイテッド航空のニュースレター「United Today」の10月号を新しいデザインにてお届けいたします。今月号では、羽田ーサンフランシスコ路線開設の申請や、新ブランドキャンペーンの開始、さらには機内Wi-Fi導入プロジェクトの進捗状況などをお伝えいたしております。ぜひ、ご一読いただければ幸いです。どうぞ今後ともユナイテッド航空をよろしくお願ひ申し上げます。

ユナイテッド航空 太平洋地区営業担当支社長
マット・ミラー

Matt D. Miller



「Fly the Friendly Skies」をスローガンに、新ブランドキャンペーンを展開

ユナイテッド航空は、このほど、米国で新ブランドキャンペーン「Fly the Friendly Skies」を発表、開始いたしました。この「Fly the Friendly Skies」は、過去の広告キャンペーンにおいて使用されたスローガンで、今日の顧客のスタイルに合わせて再登場させたものです。

過去10年以上において最大規模となる同キャンペーンは、サービス、テクノロジー、そしてプロダクトの充実こそが“ユーザーフレンドリー（顧客に優しい）”と考える今日の顧客の声を反映させました。

ユナイテッド航空では、世界をリードする“フライヤーフレンドリー（旅客に優しい）”なエアラインを目指し、グローバルネットワーク、航空機、空港施設、運航信頼性、顧客サービス、そしてITを活用したサービスなどへの投資を継続しております。

同ブランドキャンペーンのTVコマーシャルを掲載したウェブサイトはこちら(www.united.com/flyfriendly)をご覧ください。

ユナイテッド航空部門紹介 ユナイテッド航空の日本地区の各部門をご紹介します。

第15回 九州営業支店

九州営業支店(福岡市)では、現在2名体制にて、主に九州各地からミクロネシア、オーストラリアへの販売活動を行っております。ユナイテッド航空では、1987年以来、福岡空港とグアムを毎日直行便で結んでおります。また、グアムを経由してサイパン、パラオへ毎日接続が可能のほか、オーストラリアのケアンズへも週2便接続が可能となっております。さらに、福岡からは関西、成田経由で北米、南米方面へのANAとの

ジョイントベンチャー(共同事業)を実施しており、両社にて共同で同方面への販売を強化しております。ユナイテッド航空の福岡ーグアム路線は、昨年、おかげさまで就航25年目を迎えました。今後とも、ますます福岡からの送客に邁進して参りますので、どうぞこれからも九州営業支店を宜しくお願いいたします。

ユナイテッド航空 九州営業支店
支店長 山本ひとみ



ユナイテッド航空 九州営業支店
支店長 山本ひとみ(左)



東京・羽田ーサンフランシスコ路線の直行便開設を申請

ユナイテッド航空は、10月18日、同社のハブ空港の1つであるサンフランシスコ国際空港から東京国際空港(羽田)へのデイリー直行便の開設を米国運輸省に申請したと発表いたしました。ユナイテッド航空では、2014年夏期スケジュールより、既存の機材を使用して羽田ーサンフランシスコ路線の運航を開始する予定です(政府認可条件)。ユナイテッド航空のアジア太平洋・大西洋地区営業担当副社長の

ジム・ミュラーは「今回の発着枠を使用することで、東京都心に近い羽田空港と弊社の太平洋横断路線のハブ空港であるサンフランシスコ国際空港を結ぶ、便利なデイリー直行便を運航できるようになります。これにより、弊社の顧客に羽田とサンフランシスコを直接結ぶアクセスを提供できるばかりでなく、サンフランシスコ経由で各地との乗継ぎ便の提供も可能となります」と述べています。



衛星Wi-Fi搭載の航空機が合計100機に

ユナイテッド航空では、衛星Wi-Fiインターネット接続機能を搭載する航空機の合計数が100機に達しました。これにより、長距離国際路線における衛星Wi-Fi搭載航空機数は米系航空会社の中で最多となり、搭載機内では、乗客は機内のどこからでも自身のスマートフォンやタブレット端末などで自由にインターネットに接続することが可能です。ユナイテッド航空では、現在、毎月約30機のペースで衛星Wi-Fi機能の搭載を進めており、2013年末までには約200機に搭載となる予定です。



乳がん意識向上月間を支援する「ピンク・プログラム」を推進

10月の乳がん意識向上月間をサポートするため、ユナイテッド航空の多くの社員は、ピンクの制服アイテム(ネクタイ、スカーフ、帽子など)やアクセサリを身につけて勤務しています。今年で5年目を迎えるユナイテッド航空の「ピンク・プログラム」は、同プログラムに賛同した社員がアイテムを購入し、その収益を乳がん意識向上運動や乳がん検診、支援サービスを推進している非営利団体に寄付するものです。今年、その寄付を受け取る団体に日本の「ラン・フォー・ザ・キュアー」も含まれています。世界各国の同社社員は、これまでに10万ドル以上の募金を集めました。また、「ピンク・プログラム」を含むさまざまな活動を通じて、乳がん患者とその家族を支援する非営利団体に、これまでに200万ドル以上の募金を集めています。



「ピンク・プログラム」に参加するユナイテッド航空社員

デスティネーション紹介

シカゴ観光局 小早川 薫

シカゴ

アメリカ第三の都市、シカゴでは、どこよりも早くクリスマスが始まります。感謝祭の前にマグニフィセントマイル・ライツ・フェスティバルというホリデーイベントが開催され、グルメ、コンサートに加え、ハイライトとなるパレードは、まるでディズニーランドの電気カルパレードのようです。ドイツ移民の多いシカゴでは、クリストキント・マーケットというクリスマス市も人気です。可愛いクリスマスのオーナメントやスパイスの効いた



©ChristkindlMarket Chicago, German American Services, Inc. クリストキント・マーケット

ホットワイン、ジンジャークッキーなどを売る素敵な屋台が、デリープラザを囲みます。シカゴっ子の憩いの公園「ミレニアム・パーク」では、クリスマス・キャロルが毎週金曜日歌われ、美しいシカゴの街を背景にしたスケートリンクは冬の風物詩となっています。シカゴ交響楽団のクリスマスコンサートやジョフリーバレエ団の『くるみ割り人形』など、街全体がクリスマスを祝うムードに包まれる街、シカゴ。ぜひ一度お越しください。なお、シカゴへはユナイテッド航空が成田から毎日直行便を運航しています。



©Adam Alexander Photography. クリスマス・ショッピングで賑わうステート・ストリート

From PR

ユナイテッド航空では、今月、全世界で乳がんの意識向上を目指し「ピンク・プログラム」を実施しています。同プログラムに賛同する世界中の社員は、ピンクのスカーフ、ネクタイ、帽子などを購入して寄付を行うとともに、それを職場で身につけてサポートをアピールしています。その寄付を受け取る団体の一つである日本の「ラン・フォー・ザ・キュアー」をサポートするため、日本の社員も、同団体のピンクのロゴアイテムを購入し、それを職場で身につけてサポートを表しています。ユナイテッド航空は、今後もより良き企業市民を目指し、このような社会貢献活動を継続して参ります。

ユナイテッド航空 アジア・太平洋地区 広報統括本部長 永田浩二